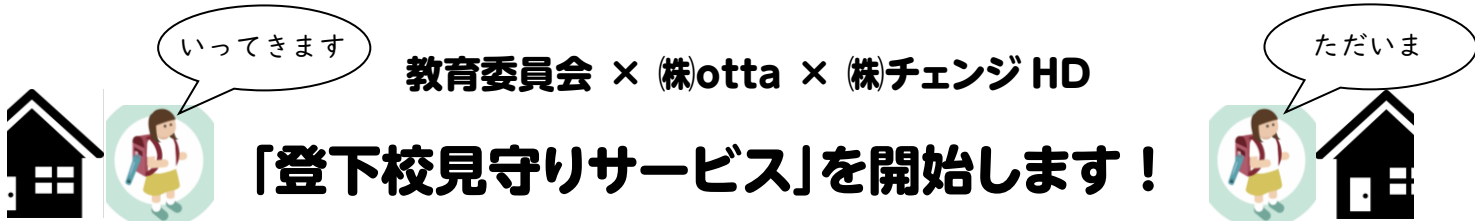




記者発表資料
2025年（令和7年）11月21日

藤沢記者クラブ各位



～民間との共創で安心して通学できる まちづくり～

藤沢市教育委員会は、IoT 技術を活用した見守りサービスを展開する株式会社 otta（本社：福岡県福岡市中央区、代表取締役：山本文和氏）及び株式会社チェンジホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役：福留大士氏）と、登下校時の児童の安全確保に向けた協定を締結しました。

本協定は、行政・事業者・地域・保護者が一体となり、子どもたちの安心・安全な通学環境を共に創り上げることを目的としています。

市立小学校（全 35 校）を中心に、登下校時の位置情報を活用した「地域みんなで見守る」仕組みを導入し、安心して通えるまち・藤沢の実現を目指します。



～2025 年(令和7年)11 月 20 日
協定締結の様子(写真)～

①対象の児童に無償で
見守り端末を配布



②いつも通りに歩くだけ



【この資料に関する問い合わせ先】

（教育委員会に関すること）

教育委員会 教育部 学務保健課
内 線：5213
担 当：清水、柏崎
直 通：0466(50)3558

（事業全般・共創に関すること）

藤沢市役所 市長室 共創推進課
内 線：*5591
担 当：東、吉田、小野、渡辺
直 通：0466(50)8261

1. 協定の目的

本協定は、IoT 技術を活用した見守りサービスを通じて、児童の登下校時における安全確保を強化することを目的としています。

藤沢市教育委員会と(株)otta 及び(株)チェンジ HD が連携し、学校・保護者・地域・事業者が一体となって子どもを見守る「共創型の安全ネットワーク」を構築します。

2. 協定の背景

近年、登下校中の児童が巻き込まれる事件や交通事故の報道もあり、保護者や地域の間で子どもの安全に対する関心が一層高まっています。これまで本市では、地域ボランティアによる登下校見守りやスクールガードリーダーの配置などを進めてきましたが、地域の担い手不足や時間的制約といった課題もあります。

そこで、デジタル技術を活用し、地域とテクノロジーのチカラを掛け合わせることで、より持続的な見守り体制を構築することを目指します。

3. 取組の概要

(株)otta が提供する見守り端末を、藤沢市立小学校に通う児童（希望者全員）に無償配布します。児童が登下校時に市内各所に設置された見守りスポット（学校、商店、公共施設など／小学校区ごとに 20 か所程度設置）を通過すると、その位置情報が記録されます。また、「見守り人（びと）アプリ」を利用する地域住民や協力事業者が“移動型見守りスポット”としても機能し、地域全体で児童を見守る仕組みを実現します。

これにより、地域の「人の目」と「デジタル技術」が融合した、新しい見守りのカタチを創出します。

4. 共創のポイント

本協定では、市民・企業・行政がそれぞれの強みを活かしながら共に仕組みを創り上げていく「共創のまちづくり」の理念を重視しています。

- ・教育委員会：学校・地域・保護者との連携、体制整備
- ・(株)otta、(株)チェンジHD：見守り端末・通信システムの提供、技術サポート
- ・学校・地域・事業者：見守りスポットの提供やアプリを通じた協力
- ・保護者：児童の安全情報の確認

このように、誰か一人に負担をかけるのではなく、「地域全体で子どもを見守る」環境をみんなで支えることを目指します。

5. 今後の展開

まずは、市立小学校（全 35 校）における登下校時の導入を令和 8 年 4 月から行います。児童・保護者・地域からの意見を踏まえ、効果検証を実施します。

（※令和 9 年度以降も、希望する新 1 年生に無償で見守り端末を配布予定です。）

将来的には、登下校時に限らず、地域の安全・安心を支えるデジタル基盤としての発展も視野に入れていきます。